

# 協会かわらばん

**メニュー**

- ・地図教室の開催・平坂競技大会
- ・入札結果調査の報告
- ・県議会土木常任委員意見交換
- ・ふるさと探訪
- ・九頭竜湖・サマーフェスタ
- ・三国東部 まちづくり協議会
- ・季節の便り・北京オリンピック

(社)福井県測量設計業協会 広報委員会

## 地図教室の開催

測量の日関連事業として、今年度から取組んでいる「地図教室」を2校目となる、南中山小学校で開催した。

今回も国土地理院北陸地方測量部のご協力を得て、橋係長より様々な地図や地図記号について、クイズ形式で楽しく学習した。引き続き、グラウンドへ出て歩測による距離測定、三角定規を用いた木の高さの測定や、測量器具に触つての体験学習に汗をながした。



(歩測の達人になろう)

(木の高さを測ろう)



今回は、6年生40名の参加で、7月16日当日は梅雨明け前の炎天下で技術委員会の方々、大変お疲れ様でした。



## 子どもたちの感想文です

(抜粋)

ぼくは、鉄棒の前からわかくさ山まで目に見えないレーザー光線で、ミリまで測れるのがすごいと思いました。びっくりしたことがあります。それは、距離や高さを知る機械があるということですね。体験できました。

ぼくは、2000年前にもう地図があったと聞いてとてもびっくりしました。地図記号で小学生が考えた物が使われていることを知ってまた、びっくりしました。

ぼくは地図記号を10数個は知っていたけれど他にも知らない記号がまだまだあったのでびっくりしました。それと、北京から見た日本地図が面白かったです。

色々な種類の地図があつてすごいなと思いました。初めて作った人が伊能忠敬と知って驚きました。面白い地図などもあつて地図といつても、すごいことだらけだと思いました。

・実習のとき、歩測や三角定規で高さや距離が求められるなんてすごいと思いました。でも、歩測は実際の距離と答えが全然違つていたので残念でした。

今日の勉強で地図記号がとて多いということが分りました。外での体験では歩幅を使って長さを図るなどして、ピッチリはできなかったけど、とても楽しかったです。

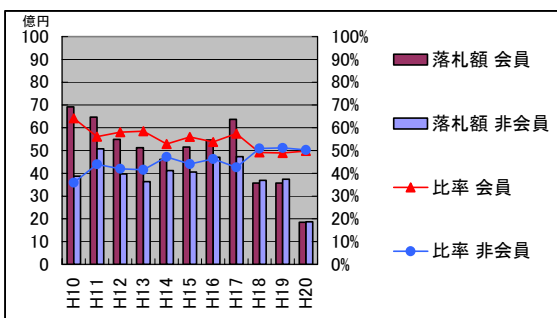
## 経済委員会

経済委員会の例年の活動である入札結果の調査を、入札調査委員の協力の基、平成20年4月から7月の入札分において実施した。

調査結果は、落札額で、会員18.5億円、非会員(県内)2.9億円、非会員(県外)15.8億円であった。

前年の同時期と比較すると、一時的ではあるが、全体で約20%の会員は25%増加している。

平成10年度からの落札額および会員・非会員の



落札額比率の推移をグラフにすると、次のようになる。

平成10年度をピークに会員の落札額は減少し、平成15年度から17年度に掛けて一時増加した。平成18年度以降はピーク時の半分に減少し、会員・非会員の落札額比率は逆転し、会員は50%を割っている。

## 平成20年度4～7月入札結果調査

県議会 土木警察常任委員会との  
意見交換会 開催

8月26日、午後2:30分

福井土木事務所3階大会議室で意見交換会が開催された。これは、建設業界および関連業界の実情を調査する趣旨で議会側より呼びかけがあり、当協会側は建設関連業協議会各役員が出席することで対応した。

冒頭、若林会長より、統計資料を用いて、発注量の減、労務単価などの下落、さらには低価格入札の急増など、業界を取巻く環境の悪化を訴えた。



意見交換では、地元企業への発注（ふるさと発注）について、恒常的な施策を要望した。

右側に  
委員会  
中央に  
県幹部  
左側に協会  
役員



会長の総括感想

委員会の現地視察ということであり、結論というものが出たわけではないが、我々業界のかなり厳しい現状は伝えることは出来たと思う。しかし、今後の入札制度などの具体的な対策、要望と言う点になると同じ建設関連業といっても多少しずつ違いがあり、難しさを感じる。関連業の中で一本化するものは一本化し、分けるものは分けるなど整理が必要。さらに、測量設計業の中においても十分な議論、調整を行い強く要望ができるような具体的なものをまとめなくてはならないと強く感じた。

平板測量競技大会

7月29日、今年度も坂井農林高校を会場として、福井県学校農業クラブ年次大会が開催され、平板測量競技の部で、審査員として当協会（技術委員会より）より7名が協力参加した。（技術委員会）

総合開会式



荒木委員長の合図で  
競技開始



ふるさと探訪

8月某日、機関誌「福測協」の表紙になっている若狭町天徳寺にある瓜割りの滝に行ってきました。外の気温は35度の猛暑、しかしこの滝の周辺は本当に涼しくまさしく天然クーラと言った感じです。



流れている水の冷たさと言いますと、30秒も手をつけていると手が痛くなります。（本当です）  
一度訪れてみる価値あります。  
（若狭開発技術センター 宇野）

コスモスと我が地区宮ノ下

我が地区宮ノ下は、平成6年に1農家が減反政策の遊休農地（30a）に子供達のためにコスモス迷路を作付けたのを契機に、平成7年より「宮ノ下コスモス広苑」と称し、毎年「福井コスモまつり」を開催し、開苑期（今年は9月27日から10月26日）には県内初め、近畿・中京より大勢（過去のピーク時、観光バス500台余り・来客数8万人程）の観光客が訪れます。今年も、10月12日開催の「第14回コスモまつり」にむけて、広苑の除草管理・準備に汗を流しております。開苑期間中は地場産の新鮮野菜などの安価販売・まつり当日は、式典・マーチング・太鼓演奏・屋台など多彩な催しを企画しています。



是非、お揃いで赤・白・ピンク・世界のコスモス咲き乱れる「コスモス広苑」を訪れてみませんか？  
お待ちしております。

（有）ミリオン測量  
設計 片川 秀則



**九頭竜湖・麻那姫湖  
サマーフェスタ。**

7月26日、27日の2日間にわたり「森と湖に親しむつどい2008」が大野市において開催されました。

(株)協立測量設計 五井輝之  
吉田忠男

九頭竜  
国民休養地  
の記念式典

オープン  
セレモニーの  
様子です。



大野市長  
福井市長、  
あわら市長  
により  
記念植樹が  
なされました。



中龍鉱山で  
使用していた  
トロツコ列車  
家族連れに  
大人気でした。



九頭竜ダム湖  
周辺での  
イベント

下半原公園  
でカヌーを  
楽しむ。



巡視船の体験乗船コーナー  
巡視船に乗り込む家族の世話をする

野尻秀郷氏 (左端)



(日刊福井新聞より)

**≪三國東部まちづくり協議会≫**

「地域交流・広報部会」活動について  
「三國東部まちづくり協議会」事務局長  
(株)ワカサコンサル福井支店  
技術部長 小島 勉

三國東部地区は、坂井市三國町の東部に位置し、あわら市と隣接する坂井平野の穀倉地帯です。

平成20年4月19日に ≪三國東部まちづくり協議会≫ が発足しました。

この協議会は、地域住民と行政が協働し、「まちづくり」を行い住みやすい地域社会を形成する目的で、坂井市の公民館又は小学校下単位で順次作られており、7月末現在で20地区に達しています。

当協議会は、最初の活動として、6月8日(日)、「スポーツ部会」による「第33回東部地区体育祭」を開催しました。

また、今回報告する「地域交流・広報部会」は、8月10日(日) 8時30分から三代目交流と自然環境保全の大切さを次世代に伝承する目的で、「田んぼの生きもの調査」を実施しました。

**調査隊出発**



**田んぼに住む生き物の  
紙芝居**

**「水土里ネットふくい」による観察会**

**大きな網と小さな  
タモ網で・・・**



当日は、参加者が84名にもおよび、そのうち半数以上が小学生以下の子供たちでした。子供たちは、魚の種類や生態を学習でき楽しかったと言っていました。  
また、その時の様子は、昼前の福井放送で放映され、翌日の新聞でも報道されました。

季節の便り 投稿記事

玄そばの種を蒔いて1週間の写真です。十月中旬に収穫の予定です。

そばは皆さんの口に入るまでが大変努力のかかる作物です。まず種を蒔き35〜70日経って手で刈り、天日に2〜3日干しそれから選別し、石臼で粉にし手打ちor機械打で麺にします。(以上は本当に美味しいそばを食べようと思った話です)



以前ラジオを聴いていたら、著名なアナウンサーが日本ではそばがおいしいのは山形と福井だそうです。嬉しくなりますね。是非皆さんも趣味の1つにそば打ちを始めてみませんか？

株式会社 三雄測量設計 北川 健

今年の夏、小学校を卒業してから二十数年ぶりに子供たちと虫取りに連日出かけました。その甲斐あってカブト虫を捕まえることが出来ました。捕まえた時の子供たちの笑顔がこの夏の一番の思い出です。

ただ、その後、虫たちの世話はいつの間にか、私の日課になりました



中央測量設計株式会社 長谷川法彦

北京オリンピック

今年のお盆は、里帰り中国の瀋陽で過ごしました。ちょうど、2008夏季北京オリンピックの開催期間でもあり、サッカー予選の開催地であるふるさと瀋陽は大変盛り上がりつつありました。オリンピックは、中国の国民にとって100年の念願であり、環境整備も改善され、町の姿が生まれ変わりました。

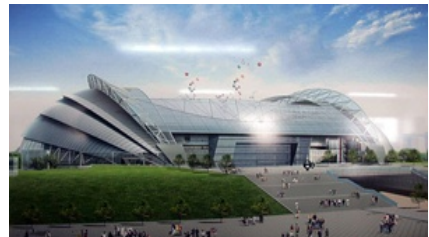
地元では、現代的なスタジアムが誕生いたしました。スタジアムの外観は、勝利の女神の手中にある水晶の王冠のよう

でありました。東西方向に位置する3つの室内館は、勝利の女神の羽のようです。

その独特の形状設計は、日本の佐藤総合計画の協力で完成したようです。男子サッカーの中国対ニュージーランドの初戦は、市民の関心が高く、最高のスポーツ祭典でした。忘れられない感動を与えてくれました。

“中国、加油”が会場に響きました。

京福コンサルタント株式会社 朴 成武



テレビ観戦での雑感

各国選手団の頑張り・喜びは詳しく報道されたとおり4年間の苦勞・努力の結果と心から賞賛の拍手を送りたいものです。

そこで、画面より感じたことは大会の運営・特にアシスタント等(表彰候補者等)の態度・表情に心あふれた優しい心意気が画面に映し出されていたことです。選ばれた、優秀なコンパニオンとはいえ東洋人として感慨深いものがひしひしと伝わ

てきました。

また、やっぱり大陸・中国だと感じたことは、どの会場でも天井が高くて空間が日本では考えられない位に広々としていて屋外競技場のように思えました。選手達かのびのびと記録に挑戦出来たことと思えました。画面で見る限りゴミもなく整然と運営された中国国家を挙げての「北京オリンピック」に賞賛を贈りつつペンを置きます。

株式会社 三雄測量建設 宮本 洋明

編集後記

この度、福測協情報誌として「協会かわらばん」(仮称)第2号を発刊する運びと成りました。この情報誌は自由な題材で会員の皆様にご覧いただきたく思っております。各委員会、会員の皆様より投稿記事も受け付けます。また、本誌のネーミングも募集します。

投稿・お問合せ先

社団法人 福井県測量設計業協会 事務局 〒918-8012 福井市花堂北1-7-5  
<http://www.fukusoku.jp/> E-mail: [info@fukusoku.jp](mailto:info@fukusoku.jp)  
 TEL: 0776-(34)1828 FAX: 0776-(34)4610